



神戸税関

わたしのまちの National Gate

2025年5月21日

「水の中」も「輸出」も視界良好！

# 水泳用ゴーグルの輸出

◆神戸港 数量は10年連続、金額は16年連続全国シェア1位！

◆2024年は全国で輸出額が過去最高！



## 1. はじめに

そろそろ、プール開きの季節ですね。皆さんは小学生の時にプールの授業で水泳用ゴーグルを付けたりしていましたか？

現在ではプールに入るときの定番アイテムの水泳用ゴーグルですが、ひと昔前までは水難防止訓練の観点から授業での使用が禁止されている小中学校もありました。現在では健康面の観点からも水泳用ゴーグルの着用が認められるようになりました。水泳は海外においても中国や韓国など、学校教育に取り入れる国も出てきています。

神戸港では近年、水泳用ゴーグルの輸出が伸びており、数量・金額ともに日本でナンバーワンのシェアを誇ります。今回の特集では、「水泳用ゴーグル\*」について取り上げます。

\*本資料でいう「水泳用ゴーグル」とは、輸出統計品目表の9004.90-000の「視力矯正用眼鏡、保護用眼鏡その他的眼鏡（サングラスを除く）」を集計したものです。神戸港における同品目番号にかかる貨物の輸出は約9割を水泳用ゴーグルが占めています。

## 2. 輸出動向

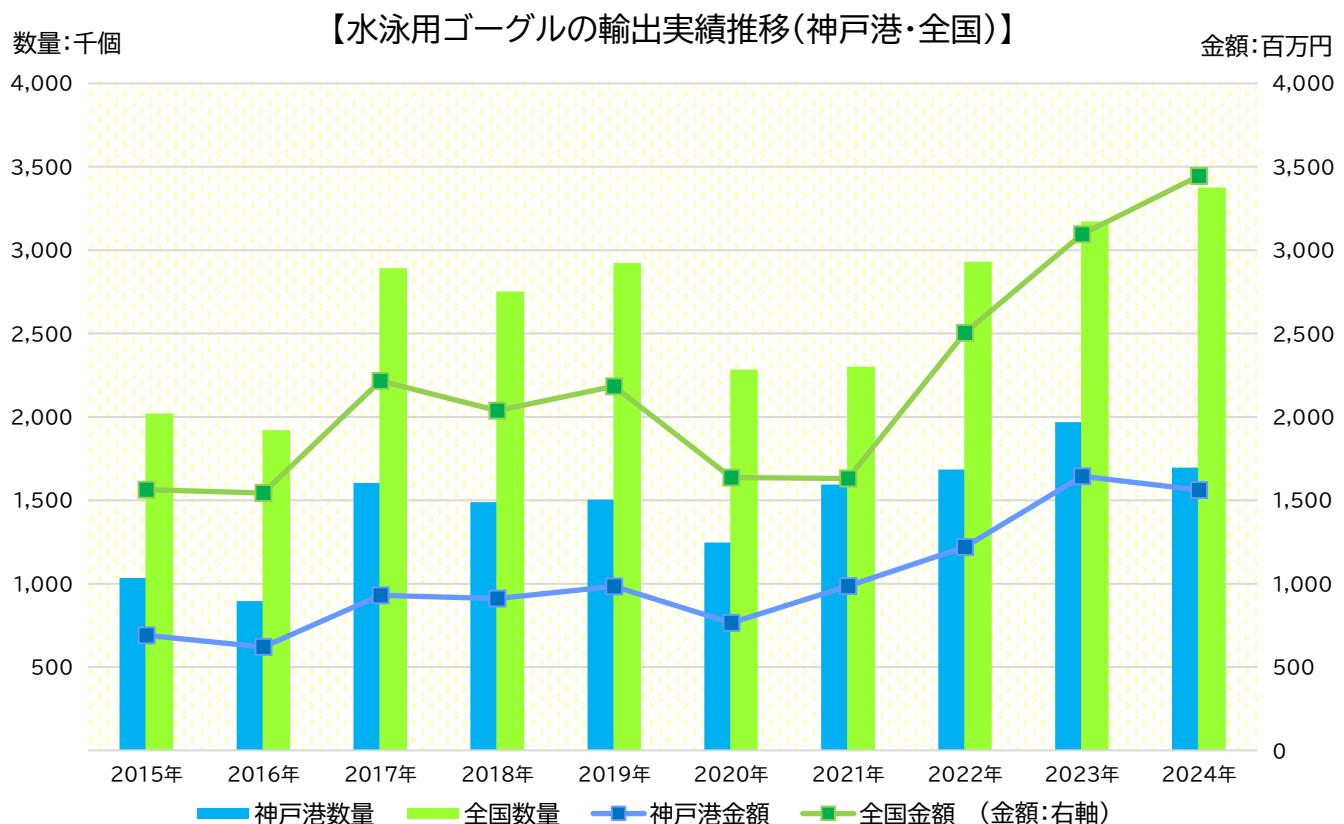
### (1) 輸出実績推移

2024 年の水泳用ゴーグルの輸出は

〔神戸港〕 数量で 169 万 6 千個、金額で 15 億 6 千 2 百万円

〔全国〕 数量で 337 万 5 千個、金額で 34 億 4 千 5 百万円

となり、全国における輸出額は過去最高となりました。



全国をみると、2024 年の輸出数量は前年比 106.4% で 4 年連続の増加、金額は前年比 111.3% で 3 年連続の増加となっています。神戸港も 2024 年は過去 2 番目の輸出額となりました。

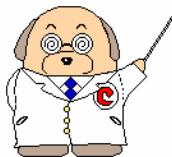
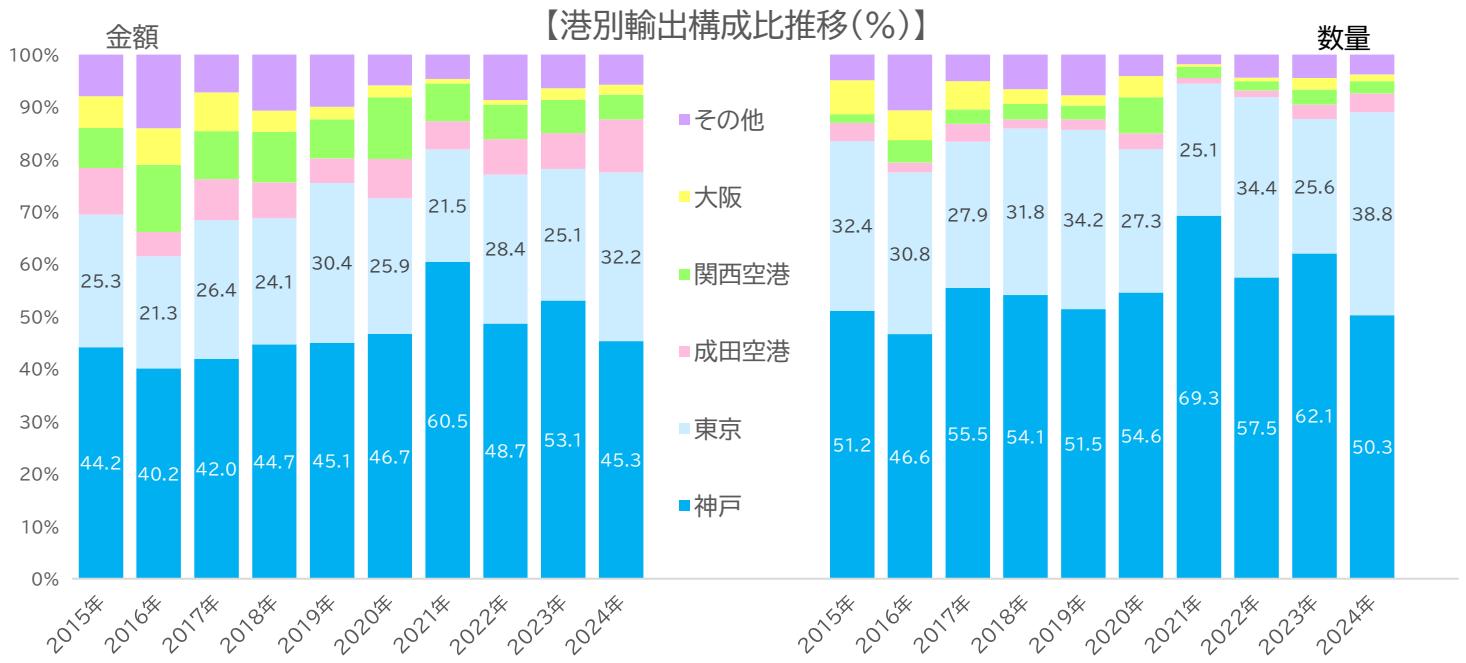
過去 10 年間の輸出実績をみると、全国は 2015 年から 2024 年にかけて数量で 1.7 倍、金額で 2.2 倍となっています。神戸港でも数量は 1.6 倍、金額は 2.3 倍と大きな伸びを見せています。

海外では日本製の水泳用ゴーグルは他国製に比べ高価であるにもかかわらず、装着した時のフィット感がよいこと、曇り止めの効果が高く、さらにその効果が長く続くなど高品質なことから需要が増加しているとのことです。

### (2) 港別輸出実績

2024 年の全国における神戸港の輸出シェアは、数量 50.3%、金額 45.3% を占め、全国 1 位となりました。神戸港の数量は 2015 年から 10 年連続、金額は 2009 年から 16 年連続全国 1 位となっています。

神戸港で水泳用ゴーグルの輸出が多いのは、メーカーの工場や物流拠点が神戸港から地理的に近い兵庫県内や近隣県などにあることと、輸出先が北米や東アジア地域などが多く、神戸港からの船便の都合がよいことなどが理由に挙げられます。



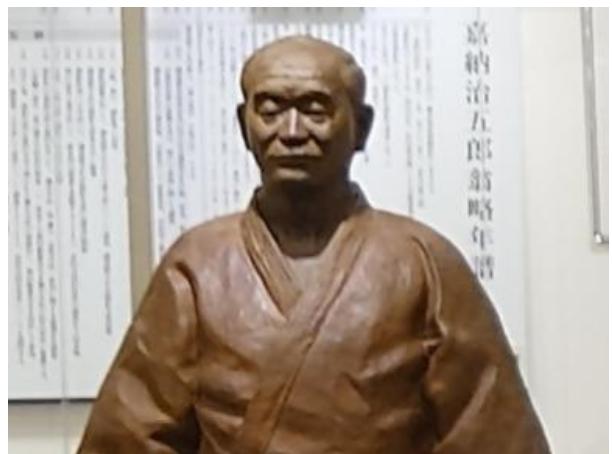
### なぜ日本の学校にはプールが？

皆さんの中には水泳の授業がイヤでイヤで「どうにかして授業を休めないか」知恵を働かせた方もいらっしゃるかもしれません。

日本ではほとんどの学校にプールがあり、水泳の授業があります。しかしこれはとても恵まれたことで、海外の多くの国ではプールがなく、水泳の授業もないところが多いとのことです。

日本の水泳の歴史は古く、江戸時代、一部の藩では「水練（日本古来の遊泳術や水中騎馬用の武術としての水泳）」を武道のひとつとして藩校において鍛錬していました。山口県萩市の明倫館に1849年に作られた「水練池」は、日本最古のプールともいわれています。また、柔道の父と知られ、神戸で有名な進学校である「灘高校」の創立・教育に尽力された「嘉納治五郎」は当時校長を務めていた東京高等師範学校（筑波大学の前身のひとつ）で「四方を海に囲まれる我が日本国においてその国民の命を守るべき水泳教育の重要性」を提唱し、水泳教育を行っていました。

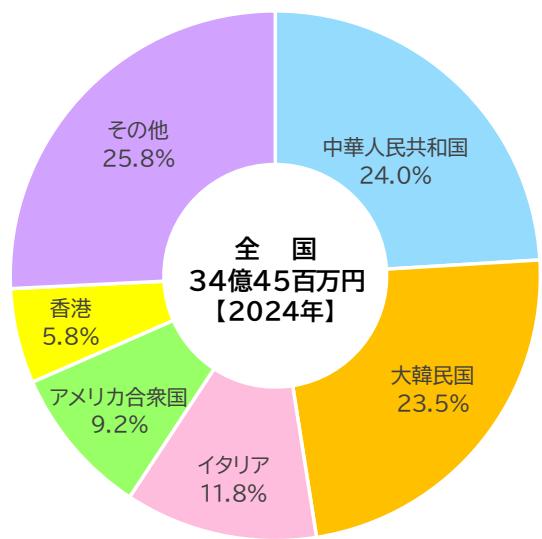
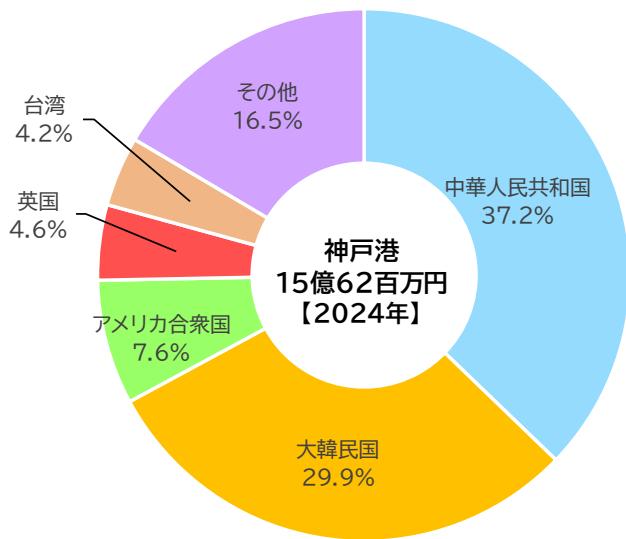
戦後には1955年の紫雲丸事故をはじめとした水難事故が相次いだことや、国民の体力向上やスポーツ振興が重視されるようになったことから、1968年に改訂された学習指導要領で「水泳」が盛り込まれ、体育の授業として取り組まれるようになりました。これにより学校のプールの建設が広まつたことです。



嘉納治五郎の銅像(御影公会堂展示)

### (3) 国・地域別輸出実績

2024年は、神戸港から中国、韓国、米国ほか計30の国および地域向けに輸出がありました。また、全国では中国、韓国、イタリアほか計68の国および地域向けに水泳用ゴーグルの輸出実績がありました。



水泳用ゴーグルの輸出先として、中国が大きく伸長しているそうです。水泳用ゴーグルや水着の好みは国によってさまざまですが、中国や米国では日本とは異なり、派手な色合いのものが好まれているということです。

業界の方によると、健康志向は日本だけでなく世界的な関心事としてとらえられ、その中で水泳は身近なスポーツとして今後も発展していくと考えており、水泳用ゴーグルの海外での売り上げは今後も伸びていくとみているそうです。特に中国や発展が目覚ましい東南アジアにおいては生活レベル向上に伴い、需要が増加するのではないかとのことです。



#### 水泳用ゴーグルこぼればなし

沖縄県糸満市の漁師の玉城  
保太郎（たまぐすくやすたろ  
う・1854年～1933年）によ  
り明治10年代後半に考案された水中眼鏡の一種の

「ミーカガン」という漁具があります。「ミーカガン」の登場により採貝漁や追い込み漁は飛躍的に発展し、特に糸満においては漁獲量が増大しました\*。ミーカガンは現在の競技用ゴーグルによく似た形状をしています。



ミーカガン(画像提供:糸満市教育委員会)

数十年前にはガラス製のため高価で割れやすかった水泳用ゴーグルも今ではプラスチック製が主流となり、丈夫で安価になったことから入手しやすいものとなりました。

\*糸満市ホームページより

### 3.おわりに

水泳は子供に通わせる習い事として大変な人気ということです。一方で、少子化の影響などで国内の水泳人口は減少傾向といわれています。

水泳は体脂肪燃焼や心肺・循環器機能向上などや体力や健康維持に適した運動として、日本国内のみならず世界中で注目されています。ユネスコ「体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章（採択年：2015年 第38回ユネスコ総会）」の第2条において「水泳の能力は、溺れるリスクにさらされるあらゆる人にとって不可欠なスキルである。」として水泳について取り上げています。

業界の方は、水泳用ゴーグルを使用することで利用者の目を守るだけではなく、大会への協賛や有名選手を招いたイベントを企画するなど競技としての水泳を発展させ、また、健康維持・促進（フィットネス）としての水泳のすそ野を広げることで「世界の健康と安全を後押しし、社会に貢献したい」と話されました。

水泳の発展に伴って日本製の水泳用ゴーグルが世界の人々の健康維持・発展に役立っていくことを期待したいと思います。次回の夏季オリンピック・パラリンピックは2028年に米国ロサンゼルスで開催されます。日本製のゴーグルを着用した選手が活躍する姿が目に浮かびます。

#### ◎資料提供

神戸市立御影公会堂

沖縄県糸満市教育委員会

- ・本資料は統計として比較可能な1988年以降のデータを基礎としています。
- ・本資料における2023年以前の数値は確定値、2024年の数値は確々報値です。
- ・本資料を転載するときは、神戸税関の資料に基づく旨を注記してください。
- ・本資料に関しては、以下にお問い合わせください。

神戸税関調査部調査統計課 TEL 078-333-3065

神戸税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/kobe/>



税関イメージキャラクター  
カスタム君

神戸税関イメージキャラクター  
カスタムちゃん

## 水泳用ゴーグルの輸出数値表<輸出統計品目番号 9004.90-000>

### ◆輸出実績推移

(数量:千個、金額:百万円)

年	全国				神戸港					
	数量		金額		数量		金額			
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	全国比	前年比	全国比		
2005年	2,280	127.9%	1,034	97.5%	427	105.5%	18.7%	289	105.7%	28.0%
2006年	1,585	69.5%	1,108	107.1%	463	108.3%	29.2%	332	114.9%	30.0%
2007年	1,403	88.5%	1,108	100.0%	358	77.4%	25.5%	253	76.2%	22.9%
2008年	1,586	113.0%	1,118	100.9%	409	114.1%	25.8%	265	104.5%	23.7%
2009年	1,822	114.9%	1,031	92.2%	737	180.2%	40.4%	494	186.8%	48.0%
2010年	1,682	92.3%	993	96.3%	744	100.9%	44.2%	511	103.4%	51.5%
2011年	1,410	83.8%	936	94.3%	721	97.0%	51.1%	487	95.2%	52.0%
2012年	1,443	102.3%	1,128	120.5%	793	110.0%	54.9%	576	118.4%	51.1%
2013年	1,392	96.5%	950	84.2%	626	79.0%	45.0%	413	71.7%	43.5%
2014年	2,020	145.1%	1,243	130.7%	688	109.9%	34.1%	434	105.1%	35.0%
2015年	2,020	100.0%	1,563	125.8%	1,033	150.1%	51.2%	691	159.0%	44.2%
2016年	1,920	95.0%	1,544	98.7%	895	86.6%	46.6%	620	89.7%	40.2%
2017年	2,891	150.6%	2,215	143.5%	1,604	179.1%	55.5%	930	149.9%	42.0%
2018年	2,751	95.1%	2,037	92.0%	1,488	92.8%	54.1%	911	98.1%	44.7%
2019年	2,923	106.2%	2,183	107.2%	1,504	101.1%	51.5%	984	107.9%	45.1%
2020年	2,283	78.1%	1,637	75.0%	1,247	82.9%	54.6%	765	77.7%	46.7%
2021年	2,301	100.8%	1,631	99.6%	1,594	127.9%	69.3%	986	128.9%	60.5%
2022年	2,930	127.3%	2,504	153.6%	1,684	105.6%	57.5%	1,219	123.7%	48.7%
2023年	3,173	108.3%	3,095	123.6%	1,969	116.9%	62.1%	1,644	134.8%	53.1%
2024年	3,375	106.4%	3,445	111.3%	1,696	86.1%	50.3%	1,562	95.0%	45.3%

## ◆港別輸出実績（数量）

(数量：千個)

年	全国	神戸港		東京港		成田空港		関西空港		大阪港		その他	
		全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比
2015年	2,020	1,033	51.2%	654	32.4%	70	3.5%	34	1.7%	131	6.5%	98	4.9%
2016年	1,920	895	46.6%	592	30.8%	36	1.9%	83	4.3%	108	5.6%	204	10.6%
2017年	2,891	1,604	55.5%	808	27.9%	99	3.4%	78	2.7%	156	5.4%	147	5.1%
2018年	2,751	1,488	54.1%	875	31.8%	47	1.7%	82	3.0%	77	2.8%	181	6.6%
2019年	2,923	1,504	51.5%	998	34.2%	60	2.1%	76	2.6%	57	1.9%	227	7.8%
2020年	2,283	1,247	54.6%	624	27.3%	69	3.0%	157	6.9%	92	4.0%	94	4.1%
2021年	2,301	1,594	69.3%	578	25.1%	26	1.1%	50	2.2%	11	0.5%	43	1.8%
2022年	2,930	1,684	57.5%	1,007	34.4%	38	1.3%	51	1.8%	19	0.6%	129	4.4%
2023年	3,173	1,969	62.1%	813	25.6%	88	2.8%	91	2.9%	70	2.2%	141	4.4%
2024年	3,375	1,696	50.3%	1,308	38.8%	122	3.6%	78	2.3%	43	1.3%	128	3.8%

## ◆港別輸出実績（金額）

(金額：百万円)

年	全国	神戸港		東京港		成田空港		関西空港		大阪港		その他	
		全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比	全国比
2015年	1,563	691	44.2%	395	25.3%	140	8.9%	119	7.6%	95	6.1%	124	7.9%
2016年	1,544	620	40.2%	329	21.3%	72	4.7%	198	12.8%	107	6.9%	217	14.1%
2017年	2,215	930	42.0%	586	26.4%	173	7.8%	203	9.2%	164	7.4%	160	7.2%
2018年	2,037	911	44.7%	490	24.1%	139	6.8%	197	9.7%	82	4.0%	218	10.7%
2019年	2,183	984	45.1%	665	30.4%	103	4.7%	162	7.4%	52	2.4%	218	10.0%
2020年	1,637	765	46.7%	423	25.9%	123	7.5%	193	11.8%	37	2.3%	96	5.9%
2021年	1,631	986	60.5%	350	21.5%	88	5.4%	118	7.2%	13	0.8%	76	4.7%
2022年	2,504	1,219	48.7%	712	28.4%	170	6.8%	165	6.6%	22	0.9%	217	8.7%
2023年	3,095	1,644	53.1%	777	25.1%	211	6.8%	198	6.4%	68	2.2%	198	6.4%
2024年	3,445	1,562	45.3%	1,109	32.2%	348	10.1%	164	4.8%	65	1.9%	197	5.7%

## ◆国・地域別輸出実績（全国金額）

(金額：百万円)

年	全世界	中華人民共和国		大韓民国		イタリア		アメリカ合衆国		香港		その他	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
2015年	1,563	294	18.8%	403	25.8%	100	6.4%	95	6.1%	120	7.7%	550	35.2%
2016年	1,544	278	18.0%	370	23.9%	127	8.2%	94	6.1%	113	7.3%	562	36.4%
2017年	2,215	534	24.1%	444	20.0%	178	8.0%	219	9.9%	141	6.4%	701	31.6%
2018年	2,037	423	20.7%	452	22.2%	149	7.3%	114	5.6%	195	9.5%	706	34.6%
2019年	2,183	551	25.2%	478	21.9%	189	8.6%	140	6.4%	146	6.7%	680	31.1%
2020年	1,637	633	38.7%	255	15.6%	95	5.8%	137	8.4%	127	7.8%	390	23.8%
2021年	1,631	773	47.4%	159	9.7%	116	7.1%	109	6.7%	106	6.5%	368	22.5%
2022年	2,504	764	30.5%	418	16.7%	269	10.7%	195	7.8%	114	4.6%	744	29.7%
2023年	3,095	736	23.8%	776	25.1%	266	8.6%	262	8.5%	202	6.5%	853	27.6%
2024年	3,445	829	24.0%	808	23.5%	405	11.8%	316	9.2%	200	5.8%	888	25.8%

## ◆国・地域別輸出実績（神戸港金額）

(金額：百万円)

年	全世界	中華人民共和国		大韓民国		アメリカ合衆国		イタリア		香港		その他	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
2015年	691	143	20.8%	309	44.8%	42	6.0%	52	7.5%	9	1.4%	135	19.6%
2016年	620	134	21.6%	297	47.8%	48	7.8%	36	5.8%	12	1.9%	94	15.1%
2017年	930	340	36.6%	325	34.9%	56	6.0%	54	5.8%	15	1.7%	139	15.0%
2018年	911	277	30.3%	314	34.4%	71	7.7%	54	6.0%	16	1.7%	180	19.8%
2019年	984	356	36.2%	261	26.5%	72	7.4%	79	8.1%	16	1.6%	199	20.2%
2020年	765	376	49.2%	165	21.6%	46	6.0%	36	4.8%	23	3.1%	118	15.4%
2021年	986	655	66.4%	85	8.6%	66	6.7%	39	4.0%	22	2.3%	119	12.0%
2022年	1,219	573	47.0%	286	23.5%	61	5.0%	80	6.6%	22	1.8%	197	16.2%
2023年	1,644	573	34.9%	531	32.3%	86	5.2%	62	3.8%	43	2.6%	348	21.2%
2024年	1,562	581	37.2%	467	29.9%	118	7.6%	71	4.6%	66	4.2%	258	16.5%